
ゴジラ（85年版）の首相は何故三原山の作戦が完遂した際に涙を流したのだろうか？

凧竜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゴジラ（85年版）の首相は何故三原山の作戦が完遂した際に涙を流したのだろうか？

【Nコード】

N3498F

【作者名】

凧竜

【あらすじ】

命の大切さについて考えてみた。 10/29 加筆修正済

(前書き)

読者によっては不快に感じる表現がありますのでご注意ください

何故劇中で首相が涙を流したのか？

それはもう決まっていますよ

ゴジラ（1985年版）という命を自分の命令で殺害しようとしているから当然良心の呵責を感じているのでしょう（しかしながらゴジラは生きていますが。命と生命については続編のゴジラVSビオランテでも語られています）

命を大事にするというのはとても大切な事です

最近になって命を軽んじるような事件が増えてきています

少し昔の事件になりますが秋葉原殺傷事件

あれも容疑者が盗んだトラックで人をはねとばした挙げ句に通リ魔なんかせずに、選挙車の方を盗みだしてゲ○戦記のテルーのコスプレをした後に『命を大切にしない奴は大嫌いだ！』と油性マジック（マッキー推奨）で書かれたプラスチック掲げて秋葉原を回っていた方が悲劇にならずにただの喜劇になっていた筈です

そっちの方が例え警察に捕まっても嚴重注意くらいで済んだでしょうし、世間的にも秋葉原で愉快的な事件が起きたで終わってた筈です（マスコミは狂ったようにオタク叩きの特番を垂れ流すでしょうが）

だからといって某種死に主人公を差し置いて目立ってしまった自由みたいに人命を取らないだけでフリーダムに振る舞うのも駄目です

あれは只の自己満ですから

命を大切にするというのは自分の命を賭ける覚悟でやるべきなのです
自分さえ良ければという考え方はもう止めてゴキブリの命ですら労
うようにしましょう

勿論ですが魚や豚などの生命を持った生き物を殺害して食べる行為
も禁止です

蚊を叩き潰すのも、蚤を捻り潰すのも駄目です

何故ならば命を本当に大切にするにはそれなりの覚悟が必要だから
です

自分の親族が脱獄した殺人鬼に命を奪われても、決して犯人を恨ん
では行けません

裁判で賠償金を請求するのも、世論を巧みに操って犯人を死刑に追
い込むのも駄目です

敵討ちも駄目です

今時の女々しい若者間で忠臣蔵ゴッコなんて流行りませんし、実行
する忠誠心も勇氣も無いでしょう

まあ、要するに私が言いたいのは命を大切に法律を作れと言う
ことです

命は何よりも優先されるべきですから

ぶっちゃけ言つと偉大なる徳川綱吉公が制定した生類憐れみの令を
全生命に適用するよう書き直してから制定すべきです

ちなみに、さつき私は唐揚げとチキンナゲットと卵かけご飯を食べ
ましたが別に気にすることは有りません

何故なら

そんな馬鹿馬鹿しい法律作っても、科学マンセーになってしまい命
を軽んじる風潮のできた今の世の中では正直に守ってくれる人間な
んで誰も居ないのですから（笑）

【終劇】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3498f/>

ゴジラ（85年版）の首相は何故三原山の作戦が完遂した際に涙を流したのだら

2010年10月22日00時51分発行